

記者発表（配付）資料

平成 24 年 12 月 27 日

所属部課	館長	副館長	館長補佐	担当	連絡先
萩博物館	湯本重男	樋口尚樹	松原功明	伊藤靖子	25-6447

件名	年中無休！年末年始を萩博物館で
----	-----------------

萩博物館は、自治体直営館としては、全国でもまれな年中無休で開館している博物館です。年末年始も特定非営利活動法人 N P O 萩まちじゅう博物館と協働で開館し、皆様のご来館をお待ちしています。

正月飾り・飾りつけ

萩博物館所蔵の萩藩主ゆかりの三方さんぽうを使って正月飾りをし、来年の干支「巳」の飾りが出迎えます。

とき 12月29日（土）午前9時～（1月15日まで展示）

ところ 萩博物館エントランスホール

沢瀉紋入三方あもだかさんぽう

萩藩土乃美氏が藩主毛利氏から拝領した三方。「沢瀉紋」は、「一に三つ星紋」とともに毛利氏の家紋。隣の「菊花紋」は、毛利氏が朝廷から拝領した家紋。

宇賀神うがじん（久保田家蔵）

宇賀神は福の神の一つで、白蛇をまつたものだが、この宇賀神は白色でない。萩城下の豪商・久保田家が萩藩毛利家から拝領したと伝えられ、毎年正月に床の間に飾られていた。

企画展開催中

「コマーシャル 100 年 in 萩 ～城下町近代化のあゆみ～」 （4月7日まで展示）

明治維新の後、いち早く地域ブランド商品の開発に取り組み、史跡観光という新機軸で地域の誇りを萩の人々は「まちづくり」につなげていきました。館所蔵の明治・大正・昭和の各時代の萩の商業活動に用いられたポスター、チラシ、販売促進用のマッチやうちわなどを展示し、城下町を起源とする「まち」の特徴ある近代化を、「広告」を通して再発見します。

テーマ展 没後 90 年記念 『山県有朋と萩 萩の水景と有朋の庭園 』

とき 開催中～1月15日（火）

ところ エントランスホール

N P O 萩まちじゅう博物館学芸サポート・古写真班活動展示会

学芸サポート・古写真班が、『角川写真のその後』と題し、エントランスホールで展示を行います。市民の方、帰省された方々にも楽しんでいただける内容です。

とき 開催中～1月15日（火）

ところ 萩博物館エントランスホール

開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日 なし 年末年始も休まず開館

観覧料 大人500円、高校・大学生300円、小・中学生100円、団体割引20人以上20%引、障がい者割引20%引